

資料館だより

第 18 号
平成26年3月



目 次

目次・巻頭写真・・・・・・・・・・	1
教育普及活動レポート ～れきみん出張事業について～	2
平成25年度 資料館・古民家園の催し・・・・・・・・	4
寄贈資料紹介・・・・・・・・・・	6
新刊紹介・・・・・・・・・・	8

《巻頭写真》

「米軍立川基地の風景」

近頃、市民の皆様からの寄贈のお申し出が増えてきているような気がします。増税や世代交代など、さまざまな要因が考えられますが、立川市に関する資料が増えることは、わが街の歴史を解明する一歩となり、大変ありがたく感じています。

今回の写真は、皆さまからいただいた資料から。国営昭和記念公園が米軍基地だったころ、基地内に勤めていた方からいただいた写真です。

（関連記事は6頁）

教育普及活動レポート ～れきみん出張事業について～

平成25年度、当館が力を入れた事業の一つに、出張事業が挙げられます。

市民の郷土知識と理解を深めることを重要な役割の一つとする地域博物館において、学校や地域への教育普及活動はかせない事業の一つです。

今回は、当館の教育普及活動の様子をレポートしたいと思います。

(1) 国立国語研究所「ニホンゴ探検2013」ワークショップ

平成25年7月20日(土)、立川市緑町に所在する研究施設群、立川学術プラザの一角を占める、国立国語研究所において開催された、「ニホンゴ探検」に、出張展示をいたしました。



「ニホンゴ探検」歴民ブースの様子

体験コーナーに、肥桶・天秤棒と背負い籠などの運搬具を、平置き展示に、童話「ごんぎつね」に登場する漁撈具と、戦前の教科書を置き、実際に触っていただきました。

そして、目玉には昭和30年代に活躍した、氷冷蔵庫を展示しました。しかし、氷が溶けると外に水が排出される構造のため、氷を嚴重にビニール袋で包んだ結果、中が冷えるまで相当な時間を要してしまいました。今とまったく材質が異なる氷冷蔵庫は好評でしたが、せっかく中に仕込んだラムネが冷えなかったことが残念でもありました。

しかし、このようなブースを出す機会を与えていただき、来場された方々に資料を体験していただいたことは、資料館の存在を認知してもらうとともに、子どもたちにむかしの生活道具を知ってもらうよい機会となりました。

(2) 市役所1階多目的プラザでのパネル展示「立川の古民家」

平成25年9月13日(金)～30日(月)まで、立川市役所1階多目的プラザにて、パネル展示「立川の古民家」を開催いたしました。



パネル展示の様子

今回の展示は、国文学研究資料館・国営昭和記念公園内こもれびの里旧石井家住宅との回遊展示の一環として開催した展示です。

立川市内に所在する古民家と、平成24年に解体された梅田診療所の写真および解説パネルを紹介したこの展示は、江戸時代末期の名主級の古民家の特徴を知っていただくよい機会だったと思っております。

(3) 小学校への出張授業

平成26年1月16日(木)、市内第7小学校3年生の「むかしのくらし体験」出前授業を行いました。

この出前授業は、小学校3年生社会科の授業単元「かわってきた人々のくらし」に合わせた体験授業です。本物を間近で観察し、体験してもらうことを目的としています。

出前授業に使用する道具は、先生と打ち合わせて決めています。今回は、小学生用れきみん特製「むかしの道具一式」と、体験用として、草履、肥桶・天秤棒、背負い籠をもっ

ていくことになりました。

また、上記小学校は立川市の南部に位置し、多摩川に近いことから、多摩川に関する写真資料と、漁撈具を中心としたプログラムも構成に入れた結果、1時間半という学習時間の中で、3年生を2グループに分け、1グループは昔の道具当てクイズを、もう1グループは小学校の歴史と、多摩川で使われた漁撈具の説明、および肥桶担ぎと背負い籠を体験してもらい、45分でグループを交代して、資料すべてを体験できるようにしました。児童たちは肥桶担ぎで、昔の人たちがどのくらい力持ちだったか、またバランスを取るむずかしさを体で学んだようでした。

実は、当館から小学校への出前授業の実施は、今年度初めて行う事業でした。教科書だけでは決して知ること・感じるできない、本物の資料を手にして、自ら体験するようなプログラムを充実させ、今後、学校教育との連携・支援・協力をしていけるよう努めていきたいと考えています。

〈小学生用むかしの道具一式〉

がんどろ	おひつ	湯たんぽ	アイロン
手燭	羽釜	背負子	たらい
ひのし	火鉢	洗濯板	計算機
手回し洗濯機	黒電話	あんか	電話器

平成25年度 資料館の催し

平成25年度 企画展・ミニ企画展

展 示 名	期 間	場 所
企画展 新収蔵品展	3/17(日)～4/14(日)	資料館
ミニ企画展 端午の節句	4/6(土)～5/6(月)	資料館・古民家園
機織り実演	6/1(土)～6/28(金)	資料館
ミニ企画展 七夕飾り	7/2(火)～7/7(日)	資料館・古民家園
企画展 立川の遺跡 2013	7/23(火)～9/1(日)	資料館
写真展 立川駅の移り変わり(学芸員実習生による展示)	9/7(土)～10/6(日)	資料館
東京文化財ウィーク公開事業 銅鉦鼓	11/1(金)～12/1(日)	資料館
企画展 合併50周年 立川市と砂川町	11/1(金)～12/1(日)	資料館
ミニ企画展 1964 東京オリンピック in Tachikawa	12/14(土)～1/19(日)	資料館
ミニ企画展 桃の節句	2/1(土)～3/9(日)	資料館・古民家園
企画展 新収蔵品展	3/15(土)～4/20(日)	資料館

平成25年度 出張事業

事 業 名	期 間	場 所
連携パネル展示 立川を歩く	7/19(金)～9/30(月)	三井住友信託銀行立川支店
出張展示 ニホンゴ探検 2013	7/20(土)	国立国語研究所
出張ミニ展示 なつかしの電話展	8/6(火)～8/19(月)	高松学習館
デイキャンプ 縄文人体験	8/9(金)	富士見児童館
繭うさぎ作り	9/3(火)	南富士見学童保育所
出張ミニ展示 こんなのでましたけど	9/7(土)～9/25(水)	高松学習館
パネル展示 立川の古民家	9/13(金)～9/30(月)	市役所1階
協働展示 よみがえる機織り	9/10(火)～10/11(金)	たましん富士見町支店
出前授業(市立第7小学校3年生)	1/16(木)	市立第7小学校
出前授業(市立南砂小学校3年生)	1/28(火)	古民家園
連携展示 東京オリンピック in たちかわ	2/7(金)～2/28(金)	三井住友信託銀行立川支店
連携展示 お散歩に行こうー春 花咲く根川緑道ー	3/25(火)～4/30(水)	三井住友信託銀行立川支店

平成25年度 体験学習

場 所	講 座 名	実施日	人数
歴史民俗資料館	手打ちそば作り	7/20(土)	31
	市民交流大学市民企画講座「縄文人に学ぶ 石器作り」	7/20(土)・21(日)	12
	夏休み工作体験 竹細工作り	8/17(土)	17
	手打ちうどんと十五夜飾り	9/28(土)	15
	正しい拓本の取り方を学びませんか	10/20(日)	7
	手打ちそば作り	11/16(土)	14
	餅つきと鏡餅作り	12/15(日)	19
	手打ちうどん作り	2/15(土)	中止
古民家園	通年体験 麦作二番耕	4/28(日)	4
	通年体験 陸稲の種まき サツマイモ植え付け	5/26(日)	15
	通年体験 麦刈り	6/9(日)	6
	通年体験 麦の脱穀とじゃがいも掘り	7/7(日)	12
	通年体験 麦わら細工作り	8/4(日)	7
	通年体験 手打ちうどんと十五夜飾り	9/22(日)	6
	通年体験 稲刈りとサツマイモ掘り	10/20(日)	1
	通年体験 稲の脱穀	10/27(日)	5
	通年体験 餅つき	11/24(日)	15
市内	多摩川の自然観察	5/26(日)	14
	市内文化財散歩 立川の古村を歩く	10/27(日)	10
	市内文化財散歩 砂川新田発祥の地を歩く	11/3(日)	21

平成25年度 講演会

名 称	会 場	実施日	人数
講演会 渋沢敬三からのメッセージ	女性総合センター	8/30(金)	48
講演会 立川の板碑	資料館	11/23(土)	17
多摩郷土誌フェア関連講演会 江戸時代における武蔵野の樹木と暮らし	女性総合センター	2/1(土)	31
多摩郷土誌フェア関連講演会 砂川の近代産業と戦災	女性総合センター	2/2(日)	35

古民家園茶点事業

回数	実施日	人数	回数	実施日	人数	回数	実施日	人数
1	4/9(火)	1	5	9/8(日)	16	9	11/1(金)	10
2	4/21(日)	3	6	9/18(水)	6	10	11/17(日)	16
3	5/14(火)	15	7	10/6(日)	11	11	3/2(日)	4
4	5/26(日)	25	8	10/22(火)	9	12	3/16(日)	39

寄贈資料紹介

昭和30年代の立川と基地

巻頭写真は、立川基地内の滑走路から撮影した写真です。

この写真は、今年度に、立川基地で昭和31～33年（1956～1958）まで軍医を務めていた、GERALD.S.SPEAR 氏から寄贈いただいたものです。寄贈いただいた資料は、その際に撮影されたもので、カラースライド約150点、モノクロ写真約600点、16ミリフィルム1本に及びます。



GERALD.S.SPEAR 氏

これらの写真や動画に使用された機材ですが、カメラは、イハゲー社のエキザクタカメラ、カラー写真には、コダック社の「コダクローム」を、白黒写真にも同社の「エクタクローム」を用いています。いずれも、昭和30年頃の日本では、普通には手に入らなかった代物です。おそらく、アメリカで購入し、赴任の際に日本に持ち込ん

だのでしょう。

700点にもおよぶ写真資料の中は、主に米軍基地内を写した写真、立川市内を写した写真、そして、最も多いのは、日本国内の観光地を旅行した際に撮影したであろう写真に分けられます。未だ整理・調査作業中ではありますが、判明した範囲で、少し写真をご紹介できればと思います。



立川基地内にあった病院の看板



立川基地内での地鎮祭の様子

寄贈者である SPEAR 氏は、空軍病院内の組織病理学センター設立および発展のため来日しました。上の写真

は、空軍病院の前に建てられていた看板です。空軍病院は、極東随一の設備を誇っていたと言われる施設で、現在のタチヒゴルフ場のあたりに建てられていました。ここは当時、滑走路から東側を意味する「立川基地東地区」内に相当します。

前ページ下の右下の写真は、組織病理学センター設立の際の地鎮祭の様子です。SPEAR氏は、この写真のあとに、供物だけをズームした写真を撮っています。日本の、それも神主が執り行う神道式の地鎮祭がとても珍しく、新鮮な風景だったのでしょう。

基地内の建物も、神道式の地鎮祭を行ってから施工に入ったことが窺える一コマです。

昭和36年に発行された日本語パンフレット『立川基地』には、「300のベッドを完備し44名の軍医が12名の日本人インターンと16名の歯科医と共に・・・(以下略)」とあります。日本人インターンは、日本各地から立川に集まっていました。SPEAR氏は、日本人インターンと生涯の友として、交流を深めたそうです。インターンとともに箱根旅行に出かけた際の写真が残っていることから、関係は極めて良好だったことが窺えます。

立川市内を写した写真も残っています。右上の写真は、現在の西立川駅近く、富士塚交番向かいで撮られた写

真です。



西立川にあった井上青果店

正月の初出荷の幟をたてたトラックから、野菜を降ろしている場面に遭遇したのでしょう。現在ではあまり見られなくなったこの風景を、物珍しげに見ていたのかもしれませんが。



立川松竹の看板

上の写真は、立川松竹の映画看板です。場所は未定ですが、むかし立川にあった映画館・松竹の記録がここでも読み取れる貴重な資料です。なお、立川松竹は、現在の立川駅北口ファーストにありました。立川には、往時には北口と南口あわせて10館の映画館がありました。そのうちのひとつであった松竹は、セントラル・中央とともに、戦後の立川を、映画の街に押し上げた1館でもあったのです。



拝島大師

立川周辺の写真も残っています。これは、昭島にある拝島大師の写真です。写真内左部に写っている「元三大師」の石碑が現在とまったくの同碑であることから、拝島大師と判明しました。拝島大師は、正月2、3日にだるま市を催すことで有名ですが、他の写真に、おそらく同所であろう、だるま市の様

子を収めた写真も残っています。現在でも外国人に人気のだるまは、むかしも興味の対象として目を引いたのでしょう。

寄贈いただいた他の写真の中には、場所特定不能ではありますが、昭和30年代前半の農村の風景や、京都や奈良、鎌倉、広島、日光など、日本の名所を観光した際に撮影した写真もあります。

いただいたこれらのどの資料も、昭和30年代前半の日本を知ることができる貴重な写真資料です。これらの資料が当館へ寄贈された縁を大切に、今後活用できるよう、整理作業を続けていきます。

～新刊紹介～

「鈴木平九郎 公私日記」第4巻(改訂版)

「公私日記」改訂版・第4巻を刊行いたしました。公私日記は昨年度出版した第3巻の続巻で、嘉永3年(1850)から嘉永6年(1853)までを収録しています。立川市歴史民俗資料館、立川市役所3階市政情報コーナーで、絶賛販売中です。オリオン書房ノルテ店・ルミネ店でも販売しています。

○公私日記改訂版・第4巻 B5判 329ページ ¥1,900

資料館だより 第18号

発行日 2014年(平成26年)3月31日

編集・発行 立川市歴史民俗資料館

(立川市教育委員会教育部生涯学習推進センター文化財係)

住所 〒190-0013 立川市富士見町3丁目12番34号

TEL:042-525-0860 FAX:042-525-1236